

## 「今週の一枚」



### ナンゴククガイソウ（ゴマノハグサ科）

山地の落葉樹林や林間の草地に群生する。土壤水分の多い斜面上，崩壊した土壌が堆積した不安定な立地には樹木の生育に適していないので草本群落が発達する。同一種が優占し，一斉に開花した様子は「湿性お花畑」と呼ばれる。クガイソウの名は輪生する葉が何段にも重なる様子から名づけられた。本州中部に生育するクガイソウは花序の軸に毛があるが，西南日本のものには毛が無いのでナンゴククガイソウとして区別される。（埴田）

（No.11 2001.8.13 掲載）